

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



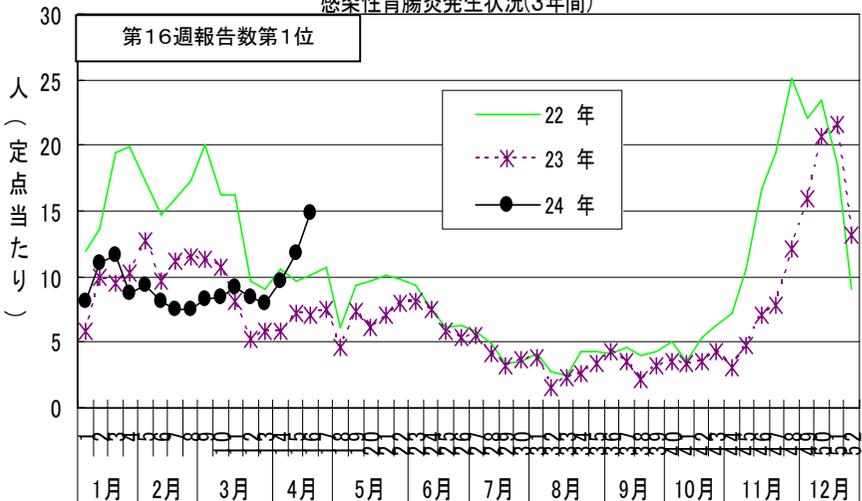
KAWASAKI CITY

平成24年4月16日（月）～4月22日（日）〔平成24年第16週〕の感染症発生状況

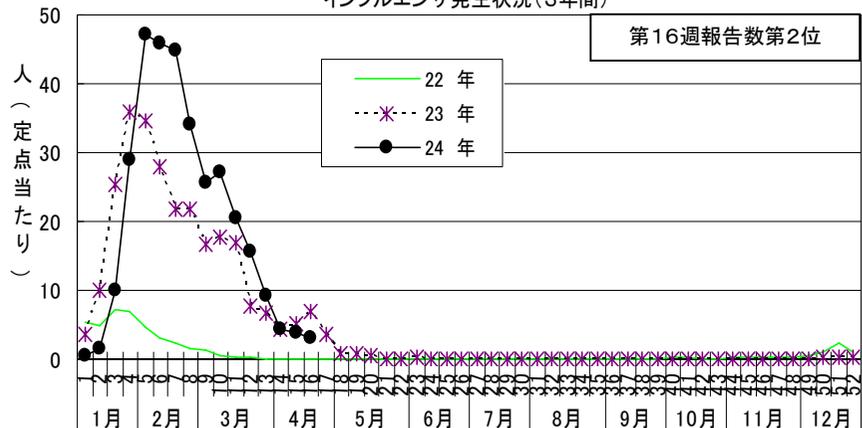
第16週で患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)インフルエンザ 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

感染性胃腸炎は定点当たり14.79人と前週（11.73）より患者報告数は増加し、過去10年間の同時期と比較して、今年が最も多い報告数となっており、特に高津区で報告が多く、流行発生警報基準値（定点当たり20人）を超えています。インフルエンザは定点当たり3.11人と前週（3.78）より患者報告数は減少しましたが、過去10年間の同時期と比較して、平成23年に続き2番目に多い報告数となっています。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



インフルエンザ発生状況(3年間)



～海外旅行で気をつけたい感染症（動物編）～

もうすぐゴールデンウィークがやってきます。この長期休暇を利用して海外旅行を計画している方に注意していただきたいポイント（「食べ物編」と「動物編」）を御紹介します。前週は「食べ物編」でしたので、今週は「動物編」です。

海外の動物は、日本での発生がない感染症の原因となるウイルスなどを持っている可能性がありますので、海外で感染症にかからないための正しい知識を身につけましょう。

動物からうつる感染症には、**狂犬病・鳥インフルエンザ（インフルエンザH5N1等）・デング熱・マラリア**などがあります。一般的な注意点を次に記載しますので海外旅行等での参考としてください。



① 狂犬病

犬などの動物にはむやみに手を触れないようにしましょう。（噛みつかれると危険です！）



流行地でこれらの動物に噛まれたら、すぐに医療機関を受診し、治療を受けましょう。

② 鳥インフルエンザ

流行地では鳥に不用意に触らず、また近寄らないようにしましょう。旅行先での手洗い・うがいも大切な対策です。



今年もエジプトやインドネシアなどで鳥インフルエンザ（H5N1）の人への感染事例が報告されています。鳥インフルエンザ（H5N1）は、病原性の高いウイルス感染症ですので注意しましょう。

③ デング熱・マラリア

蚊に刺されることによって感染します。流行地に旅行する際には、長袖の服の着用や防虫スプレーを使用して蚊に刺されないようにしましょう。

